



＜本年度会長方針＞ 夢や希望を語り合おう

地域を育み、大陸をつなぐ

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 岩崎 征一 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 松本 哲朗 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

＜2010-2011年度 R.I.テーマ＞

R.I. 会長 レイ・クリンギンスミス
Ray Klingensmith

第1311回例会

雑誌月間

平成23年4月14日(木)

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 61名

52名中40名出席

出席率 76・92%

前々回出席率 82・35%

「我等の生業」

「ロータリーシンク」

指揮者 渡辺 観永

ピアノ伴奏 富板 玲子

「ゲスト」

中部名古屋みらいRC

直前会長 川口 豊さん

「ピクチャー」

名古屋RC 中北 智久さん

「ニコボックス」

本日はよろしくお願ひします。

中部名古屋みらいRC

川口 豊さん

本日、クラブアッセンブリー。活発な意見を。 岩崎 征一

川口先生、本日卓話よろしくお願ひ申し上げます。 柴岡 正将

お忙しい中、母の葬儀お見送りを頂き、ありがとうございます。

佐藤 彰

佐藤さんご苦勞様。 尾上 昇

本日、14日に50代最後の誕生日を迎えました。 前田 隆久

先週生まれ初めてインフルエン

ザにかかりました。B型でした。みなさんも気を付けて下さい。

やっと風邪が治ったよー！ 春日井和良

誕生日です。 横井 衛 杉浦 令淑

「会長挨拶」

会長 岩崎 征一

「千種図書館」

千種図書館は、名古屋市東部の東山公園北側、東山通沿いに面した緑豊かな丘陵地に名古屋市内9番目の図書館として昭和43年(1968)に建ちました。

水軸を基調とし、敷地の高低差をうまく利用した伸びやかで繊細な外観は、緑溢れる周囲の景観にうまく解け込んでいて大好きです。残念な事に利用者増大と老朽化のため近く取壊されることが決まっています。

新図書館は道路をはさんだ反対側に建てられる事も決まっています。設計をした城戸武男氏は名古屋高等工業学校を卒業後、竹中工務店勤務を経て、昭和8年(1933)城戸武男建築事務所を創設。洗練された端正な作品を多く残しています。

お城博士と言われた、実弟城戸久氏の関係で岐阜城天守閣など城の再建設などとも数多く手がけました。



「卓話」

「ロータリーと私」

中部名古屋みらいRC

直前会長 川口 豊さん



できました。それは留学中に学んだことより多くのことを学ばせて頂くことができたと思っています。何か恩返しが出来たことを願っています。いながら益々ロータリーのお世話になることになりました。

1977年度に第263(O)地区(岐阜三重地区)美濃加茂ロータリークラブから推薦をいただきましてロータリー財団奨学生として当時西ドイツに留学させていただきました。ロータリーの精神に包まれ、素晴らしい貴重な体験をたくさん積むことができました。心から感謝しています。ドイツでの勉強を終えて、1981年に帰国いたしました。ロータリーに対して何かお返しできないかと考えていましたが、ちょうどこの年この岐阜三重地区にロータリー財団奨学生とGSF経験者による学友会を作ることになり参加して活動させていただきました。以来、学友として、さまざまな機会にロータリーの活動に参加させていただき、ロータリーの素晴らしさに触れ、多くのことを学ばせていた

2005年ごろから、規定の変更でロータリー財団の学友はそのことでロータリアンになる資格を有しているということになり、学友が中心となったロータリークラブが生まれるようになりました。新世代ロータリークラブとしては「かながわ湘南ロータリークラブ」が第1号で2005年に設立されました。このころからひそかにこの中京地区にも学友によるロータリークラブが出来てくることを期待した働き掛けを頂くようになりました。最初はまさか学友である自分たちがロータリアンになるということが想像もできない状態でした。私たちがこうしてロータリーは私たちを形作っている根本のようなものなのです。だから、恐れ多くて実現するとは夢にも思つていられませんでした。

屋大須ロータリークラブの有力な方のご指導をいただき、前に向けて進むことになりました。その時ご馳走していただきましたら、鍋とワインの味が忘れられません。

ふぐ鍋に心から感謝している次第です。第2760地区のガバナー、パストガバナー、財団委員長をはじめ多くの皆様の応援を頂いて、中部名古屋みらいロータリークラブを27名のメンバーでスタートし、2009年5月24日に認証状伝達式を行いました。第2760地区第82番目のクラブで、西名古屋分區に所属しています。多くのロータリーの皆様に見守っていただき私が認証状の伝達を受けました。あれほどの感動は人として一生に一度しか経験できないことだと思います。1枚のペーパーである認証状の重みはすこしと心にしみてきました。胸につけたロータリーバッジがきらきらと輝き、ものすごく大きな存在価値を放っていました。この時やっと気がつきました。学友会はこんなに活動しても恩恵を受けた側の人の集まりであって、ロータリーの側ではなかった。そして、こうしてロータリアンになった時、自分も自分の意思でロータリアンとして若い人材を育てる活動をするこができる一員になったのだと「いいこと」。このとき初めてこれぞロータリーに因返すべきなのだと

ができると思いました。今はロータリークラブを作り、ロータリアンになったことを感謝し、幸せに思っています。

もうひとつ嬉しいことは、クラブの若いメンバーがロータリアンぶってロータリーの責任を果たそうと頑張っている姿を見ることがです。会社の社長でもなく、以前でしたらとてもロータリアンなる資格もなかったような若い人が、学友であるということがロータリアンになることができ、ロータリー活動をしている姿はほほえましいものです。ベテランロータリアンからはこのクラブはまだひよこのようなクラブだと言われていますが、暖かく見守っていただいています。

今後ともこのご指導の程お願い申し上げます。

国際ロータリー・ニュース

2011年4月8日

地震・津波災害

日本のロータリアンからの報告

「地面はいつまでも大きく揺れ続け、これで私は死んでしまつたのではないかと思いました」と黒田正宏ロー理事は、3月11日の大地震を振り返ります。

院長として青森県八戸市内内科病院を開いている黒田理事は、マグニチュード9.0の地震発生時の臨場観察を行いました。

高齢の患者さんの身体を支えてあげながらゆつくり階段を下り、階下についたときに地震が治まったそうです。すべての患者に帰宅するよう伝えたところ、一人の女性患者は、怖さのあまり帰宅を拒み、その後数時間、病院内に留まったといえます。何と云ってあげたらよいのか分かりませんでした」と黒田理事は話します。

観測史上最大を記録した今回の地震は、陸地に数キロも浸入するほどの津波を引き起こし、地域の壊滅を含む甚大な被害をもたらしました。黒田理事は、津波が破局的な被害をもたらし、自宅や病院の数キロ近くまで押し寄せたことを「マジオで知りました。寒くなる夜に備えて暖房を確保し、ろうそくや電池を準備しました。夜になると、暗くて歩くことすら困難だったそうです。さらに、余震も頻繁に起きていました。誰もが心に恐れを抱いていました。

仲間のロータリアンと連絡を取ることでもできなかった、と黒田理事は話します。震災後3日間は、家庭電話に携帯電話、Eメールすら使用できず、地域は完全な孤立状態にありました。最も大きな被害を受けた第2520地区(若手、宮城)についての情報も一切得られず、それらの地域に住むロータリアンとの連絡もままなりませんでした。

第2520地区の榎山ガバナーは、震災直後、大きな被害を受けた地域に駆けつけました。海岸沿いの被害状況はさまざま、テレビで見える内容よりはるかに悲惨な光景が広がっていたそうです。「現在も、緊急支援と行方不明者の捜索が続けられており、津波被害を受けた地域では、食糧、飲み水、ガソリン、医薬品などの物資の不足が深刻な問題になっています」

今後増えると予測される被害者数に不安をのりせつつも、ロータリアンからの応援に励まされていると、榎山ガバナーは話します。「世界中のロータリアンから数々の温かい励ましをもらった」と述べる同ガバナーは、それら支援の手に後押しされながら復興に取り組みしていく意思を強めました。

第2550地区(栃木)では、津波被害は免れたものの、地震による大きな被害を受けたと瀬下龍夫ガバナーは話します。地震の最中、机の下にかくれて地震が治まるのを待っていた瀬下ガバナーは、建物の支柱に亀裂が走ったとき、崩壊を予期しました。もはやこれまで、この思いが瀬下ガバナーの脳裏をよぎりましたが、幸い、建物は持ち堪えました。

瀬下ガバナーは4月2日、大槌RC(若手)会員の植田俊郎さんに救援物資を届けるため釜石を訪

れました。上田さんは、津波が建物の3階まで押し寄せる中、やっこのこで階上へと逃れたそうです。

ロータリー・クラブは、被災地を支援するために、できる限りを尽くしていると、黒田理事は話します。ガソリンが不足する状況にもかかわらず、多くのロータリアンが被災地に救援物資を届けてくれます。一丸となって活動するロータリアンの姿に、私は心から感激しています。

(記事) Ryan Hyland
訳者注 引用はすべて英語から翻訳されたものです
http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews/News/Pages/110406_newsjapanwitnesses.aspx

4月28日(木)例会の案内

卓話

「鉄鋼業界にみる

日本経済の未来像」

愛知県鉄構工業共同組合

青年部アドバイザー

伊藤 渉さん

紹介者 岩崎 征二さん

広報委員会

近藤 明美・前田 隆久

近藤宏一郎・杉浦 令淑

*本文は、原則、頂いた

原稿を転載しています。